



## 地区チーム研修セミナー

国際ロータリー第2510地区

次期地区代表幹事

齋藤 仁

(小樽南RC)

2023年(令和5年)2月18日(土)午後1時から、札幌市中央区のロイトン札幌において「地区チーム研修セミナー」がリアル開催で行われた。次年度ガバナー補佐、地区委員長が松浦ガバナーエレクトの元、ワンチームになるべく初めての顔合わせの機会が訪れたのだ。

前日、ニセコで日本初開催のRISキーフェローシップフェアウェルパーティーが、倶知安で行われそれに出席した石丸ガバナーの挨拶からセミナーは開会された。

役員紹介役の石川次期地区副代表幹事が、前日に判明した家族の流行病感染により急遽欠席せざるを得ない状況になった。しかし、そんな中、桂次期地区幹事が会場での急振りながら代役を果たして頂き、出席者の皆さまにご迷惑かけることなくプログラムは進行していった。

アメリカフロリダ州オーランドで行われた国際協議会での研修を終えた松浦ガバナーエレクトが、RIテーマ「世界に希望を生み出そう」と発表したゴードンR・マッキナリーRI会長エレクトとの幾度にも及ぶ研修。世界中から集まった600名以上のガバナーエレクトとの分科会と交流。すでに日本国内で何度も顔合わせをしている日本から集結した34名の同期ガバナーエレクトとの絆。

それらの仲間とこれからのロータリー活動の方向性を考え、地区テーマを「地域社会に希望を育むロータリー」と発表した。地区目標を個別に説明し、重点項目の1番に女性会員10%達成を掲げた。現在世界中での女性会員比率が33%、それを35%に上げたいとRIでは動いている。しかし、今年の国際協議会では、それよりも多い半数くらいのがバナーエレクトが女性だったと肌感覚で感じた松浦ガバナーエレクト。本地区が率先して10%を目指すという意思表示をされた。

嵯峨義輝次期地区研修リーダー(PG)による「戦略計画の必要性」と題しての講演。福井敬悟次期地区研修委員(PG)による「地区委員会委員長の役割と責務」と題しての講演。最後の講演は、小山司次期地区研修委員(PG)による「会員基盤の強化」と題して第2510地区の現状をデータで示された。その後、私から地区組織図、ガバナー公式訪問案、ガバナーエレクト事務所スタッフの役割分担の説明をさせていただき、次年度予算案を廣部次期地区財務委員長が発表した。

続いて、11名(1名欠席)のガバナー補佐から自己紹介と抱負をのべていただき、休憩を挟んで、次期地区委員長25名から自己紹介と抱負を述べていただいた。多くの次期ガバナー補佐、地区委員長の協力のもと、ほぼ時間通りにプログラムは終了した。

その後、会議場から移動しての懇親会。お互い飲み物の力を借りて大いにコミュニケーションを図り、忌憚ない雑談による交流会が行われた。

研修と懇親会の閉会のあいさつは恒例となっているガバナーノミニーの仕事だ。出村ガバナーノミニーによるT・E・A・M(チーム)の語源説明には、全員頷いて満面の笑顔で応えていた。

